

郷土摂津

いにしえ通信

第64号 平成15年8月1日

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

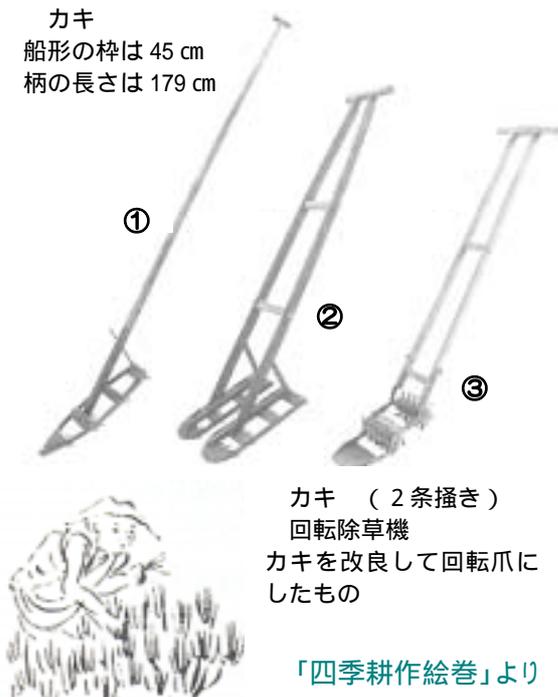
TEL (06) 6383-1111 TEL (072) 638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>

カキ

船形の枠は 45 cm

柄の長さは 179 cm



カキ (2条掻き)
回転除草機
カキを改良して回転爪にしたもの

「四季耕作絵巻」より

農具
から見た春夏
秋冬

第5回

カキ・回転除草機

稲作の中でも最も重労働なのは炎天下の草取りで、1週間したら1貫目(約4キロ)痩せるともいわれています。サナブリ(田植え休み)の一週間後から草取りが始まります。1回目はカキ、2回目はカキと回転除草機、3回目は手で株の根元を除草します。聞き取り調査(千里丘地区)では、6回草取りをしたとも聞いています。除草剤が普及するまでは、カキや回転除草機が草取りの主役でした。

まいどおおきに出前講座
行政編・市民編

まいどおおきに出前講座は、市民の学習グループのリクエストにお応えし、市の職員及び市民講師が皆さんの地域に直接出向き講座を開催します。講師料は無料です。

問い合わせ・申し込み

摂津市教育委員会 生涯学習課

(06) 6383 - 1111 ・ (072) 638 - 0007



講師は市民によるボランティア学習グループ・ふるさと摂津案内人がつとめます。

出前講座では、古代からちょっと昔までの歴史や文化財に関する講座をご用意しています。ご注文お待ちしております。

行政編メニュー

摂津市の郷土史 摂津市域の古代から現代まで

織田有楽齋と摂津市 信長の弟織田有楽齋の一生

触って感じる出前遺物展示 土器から見た古代生活

摂津市と中世の考古学 蜂前寺跡発掘調査の成果

摂津市と水田の考古学 弥生水田から条里制まで

市民編メニュー

摂津市の郷土史 摂津市の歴史と文化財を紹介

むかしの鳥飼・味生 郷土史と伝承の聞き伝え

石碑・顕彰札の紹介

摂津市域の歴史をたずねて

鳥養宗慶といまはなき宗慶島

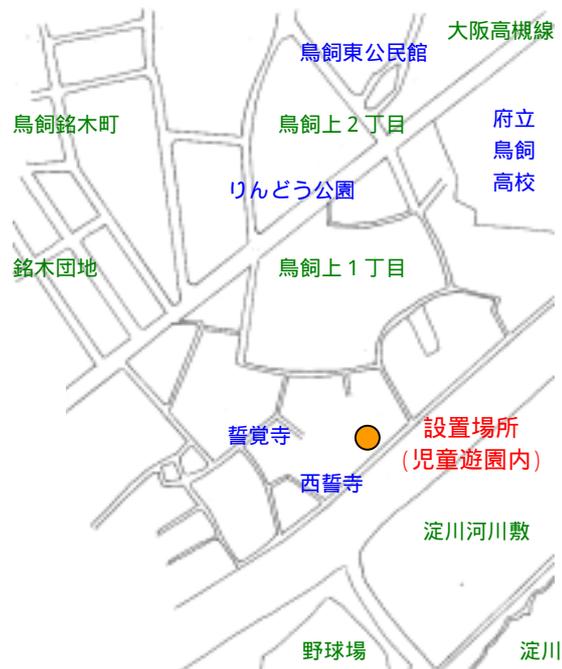
宗慶島は、鳥飼に住んでいた鳥養宗慶の名をとったもので、年貢 50 石相当の川中島で淀川本流の島の一つでした。島は里芋畑や麦畑として明治 29 年（1896）まで耕作されていましたが、大正 10 年（1921）の淀川堤防改修のため、その土砂は採取され姿を消してしまいました。

鳥養宗慶は、中世の鳥飼地域の治水関係書状によると、土豪や荘官として用水や悪水処理設備の管理権を掌握していた人物だと考えられます。また鳥養宗慶は、飯尾常房がはじめた飯尾流の和様書道を受け継ぎ、新風を開いて鳥養流を名乗った人として知られています（「明翰抄」「撰陽群談」）。

宗慶にゆかりあるものとして、鳥飼中に「宗慶」という小字があり、その屋敷跡であろうと考えられます。

【所在地】 鳥飼上一丁目 19 番地

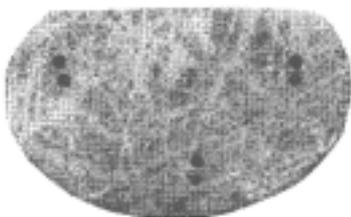
【設置年度】 平成 10 年度改修



宗慶島・顕彰札

第28回 埋もれた摂津市の歴史

明和池遺跡の発掘調査 (3)



丸鞆(広報せつ第 357 号掲載写真)

このときの発掘調査では、丸鞆(まるとも)という石帯具(せきたいぐ)が1点出土しました。帯の表面にとりつけた板(かばん)の一種で、瑪瑙(めのう)や粘板岩でつくられています。正倉院に伝世されているものの他、官衙遺跡等から発見される例が見られます。方形の巡方(じゅんぼう)と半円形の丸鞆を交互につけます。身分や儀式により、形、材質、配置などが異なりました。

明和池遺跡出土の平安時代の丸鞆は大きさが 3 × 4.8 cm、厚さが 8 mm で裏面に 1 対の穴が 3 ヶ所あけられ帯につけられるようになっています。